

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
カウンセリング概論 Introduction to Counseling		2年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(教職課程科目(英語、栄養教諭))	特になし。
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
教職課程科目と心理学				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
教職課程科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
小竹仁美	講義棟3階	水・木・金(授業時間と学生相談時間を除く)		授業中に指示します
授業の概要				
<p>カウンセリングは、クライアントが自分一人では解決できないと感じている問題について、信頼できる人間関係(ラポール)を築き、クライアント自身がそれを解決できるように援助する過程であるといえる。この科目では、①信頼関係の形成、②カウンセリングの基礎理論、③カウンセリングの基礎技術、を主たる授業内容とし、カウンセリングの実際を理解し、基礎力の習得を図る。</p>				
授業の目標				
<p>①カウンセリングの事例を通して、信頼関係(ラポール)の形成の仕方を身につけることができるようにする。 ②主要なカウンセリング理論の歴史と考え方の特徴を学び、心理的問題を各理論を使って捉えることができるようにする。 ③カウンセリングのスキルを体験的に学び、使えることができるようにする。</p>				
授業の方法				
講義形式とロールプレイなどの参加型形式によって、聴く態度と聞く力の習得を図る。				
学習の成果(学習成果)				
<p>①日常的な人間関係とカウンセリングにおける人間関係は異なるという意識をもって、他者の話を聴くために公平に誠実に聴く姿勢を身につけることができる。 ②話し手の話す内容を言語的のみならず非言語的にも聴き、話した内容を受け止める態度を身につけることができる。 ③話し手、聴き手、観察者としてロールプレイに参加し、基本的なカウンセリングスキルを身につけることができる。</p>				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス：授業概要や目標、成績評価と受講上のルールを説明 カウンセリングとは			
第2回目	ラポール形成について 自分と他者を知る			
第3回目	表情とことば			
第4回目	カウンセリングスキル① 傾きと相づち			
第5回目	カウンセリングスキル② 繰り返し			
第6回目	カウンセリングスキル③ 明確化			

第7回目	箱庭療法体験	
第8回目	カウンセリングスキル④ 質問	
第9回目	面接初期について	
第10回目	面接中期について	
第11回目	面接後期について	
第12回目	カウンセリングの事例について考える	
第13回目	ロールプレイのテスト	
第14回目	ロールプレイのテスト	
第15回目	体験の振り返り	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	60%	ロールプレイや話し合いに真剣な態度で臨んでいる。活発に意見を発表するとともに、他の参加者からの意見を引き出したり、聴いたりする。
レポート	40%	授業内容に基づいたテーマで、内容構成がしっかりしていて、学習成果が十分に示されている。
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
必要に応じて資料を配布する。		
履修上の留意点・ルール		
積極的に参加し、他の参加者と交流をもつことを期待する。		